

土屋 遼太 (TSUCHIYA Ryota)

研究員

1991 愛知県生まれ(千葉県船橋市育ち)
2016 東京農工大学大学院農学府 修了
2016 農研機構 農村工学研究部門 採用
農地基盤工学研究領域 農業施設ユニット
2021 資源利用研究領域
地域資源利用・管理グループ
2024 慶應義塾大学大学院
理工学専攻後期博士課程 入学



横顔

研究者の横顔

〈研究者の顔〉

「横顔」を語るには正面の顔をまず知ってもらわないといけない気がするので、まずは研究者としての自分を短文で紹介します。主に温室と営農型太陽光発電施設という農業施設を対象に、栽培環境の計測制御、エネルギー利用最適化を研究しています。あとは、「research map」というサイトに情報をまとめているのでそちらで私の名前を検索していただければ幸いです。

〈さて、横顔……、こんな私ですがよろしくお願いたします〉

正面については上の通りなので、横顔を書きます。「横」とはつまり、「裏の顔」までいかないまでも正面とは違う見え方のする顔のことだと思うので、研究に関係なさそうなことを書きます。こういう場所で発言してはいけない、「裏」は出さないように。しかし考えてみると、「横」という概念を提起するからこういう見方があるわけで、場合によっては紙のように「表裏」しかない場合もあります。そういう場合に、無理矢理「横」を定義すると、それは表から裏へのグラデーション、乃至、表と裏の境界線を含む面になるわけで……そうです。これが私の横顔です。ぐだぐだどうでもいいことの大した事ない理屈をこねる人間です。

「研究者の顔」というのが仕事の顔なら横顔は「素の自分」になるのかなと考えてみます。或いは素の自分は裏に隠しておかないといけないのでしょうか。とにかく、とりあえずはこのように定義してみます。素の自分というのは、私の性格なんかを叙述するより、好きなものの羅列で描けるような気がします。マイ・フェイバリット・シングス、「サウンド・オブ・ミュージック」ですね。

〈マイ・フェイバリット・シングス〉

①音楽：「No Music, No Life」です。気がついたら音楽が好きでした。歌うのも聴くのも演奏するのも。最近アーティストでいえば Rei (シンガーソングライター・ギタリスト)、藤原さくら (シンガーソングライター・俳優)、奇妙礼太郎 (シンガーソングライター) を重点的に追っています。他にも BLUE NOTE TOKYO なんかたまに足を運び、ジャズなども楽しみますし、ロックもパンクもメタルも (スラッシュ・メロデスを特に) ヒップホップ (日本語ラップ) も好きです。ラップだと梅田サイファーとか餓鬼レンジャーとか Rhymester とかが好きです。

②読書：日本人だと村上春樹、内田百閒、遠藤周作あたり、海外だとカフカ、スタインベック、ドストエフスキーあたりが好きです。仕事が論理的である分、読書も音楽も不合理性 (カフカ先生万歳) とエモーショナルを重視しています。百閒先生はどちらかというと随筆ですが、思ったことを思ったままに書くのが粹でもあり、時に感情をくすぐられます。最後に一応研究者としておすすすめを。これは歴史書ですが「科学の発見」(スティーヴン・ワインバーグ著、赤根洋子訳、文藝春秋)。物理学者の書く歴史書です。興味深いです。この本は合理的です。百閒先生についてもっと書きたい。